

2026年第1週(12月29日～1月4日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2026年(令和8年)1月8日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/index.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

インフルエンザの定点当たり患者報告数は8.58で前週比0.4倍に減少しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾病名	発生数	発生の概要
2026年第1週	2類	結核	2	男性、57歳、肺結核及び結核性胸膜炎 女性、71歳、無症状病原体保有者
2026年第1週	4類	レジオネラ症	3	男性、86歳、肺炎型、感染地域：名古屋市 男性、82歳、肺炎型、感染地域：名古屋市 女性、85歳、肺炎型、感染地域：不明
2026年第1週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	男性、66歳、菌検出検体：血液
2026年第1週	5類	梅毒	2	女性、22歳、早期顯症梅毒2期 女性、19歳、無症状病原体保有者
2026年第1週	5類	百日咳	1	女性、2歳、検査方法：核酸增幅法による病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

[2026年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計]

感染症の分類	疾病名	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	2(1)
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	0
4類感染症	レジオネラ症	3
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1
5類感染症	梅毒	2(1)
5類感染症	百日咳	1

累計は 2026 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計患者数を再掲。対象疾病が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾病のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

[愛知県麻しん・風しん患者調査事業について]

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。

調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>をご覧ください。

[定点医療機関からの情報]

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

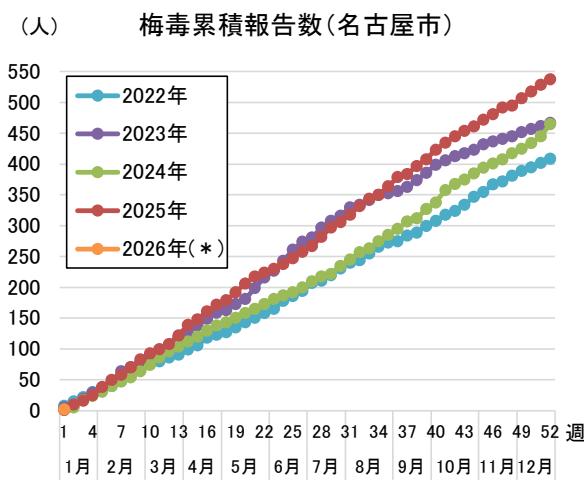
インフルエンザ A 型：22名 インフルエンザ B 型：3名	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型：8名 インフルエンザ B 型：9名	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型：25 名 インフルエンザ B 型：2 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：40 名 インフルエンザ B 型：5 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ：63 名 (A 型：62 名、B 型：1 名) 急性呼吸器感染症 (男性：169 名、女性：171 名) 計 340 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザが依然多いです。	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A 型：3 名 インフルエンザ B 型：3 名	定点医療機関（緑区）

〔名古屋市の梅毒報告数〕

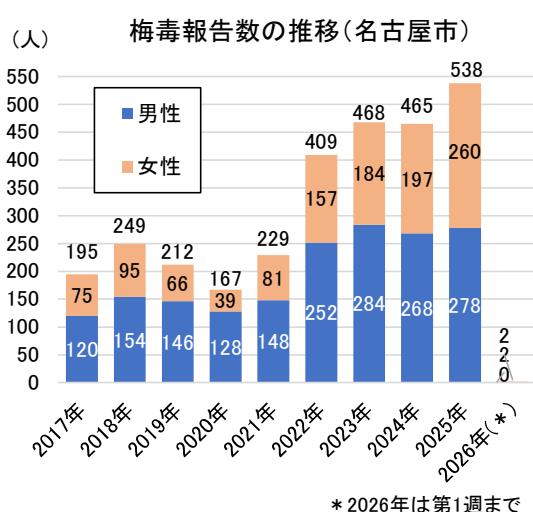
- 本市における梅毒の2026年第1週の報告数は2人です。近年、梅毒の報告数が全国的に増加しており、本市における2025年の報告数は過去最多の538人でした。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



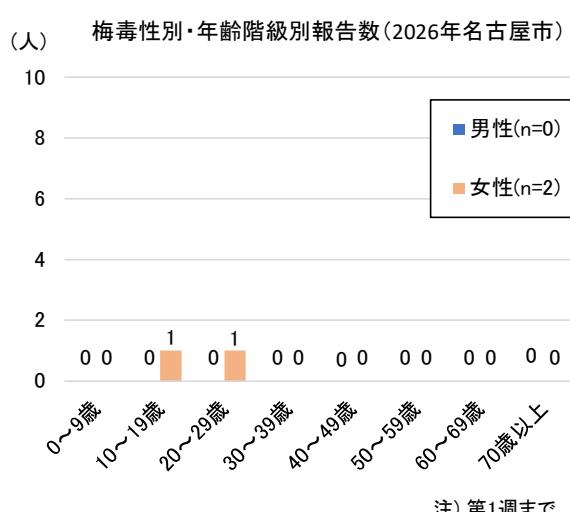
* 2026年は名古屋市のみ第1週まで、全国は未確定



* 2026年は第1週まで



* 2026年は第1週まで

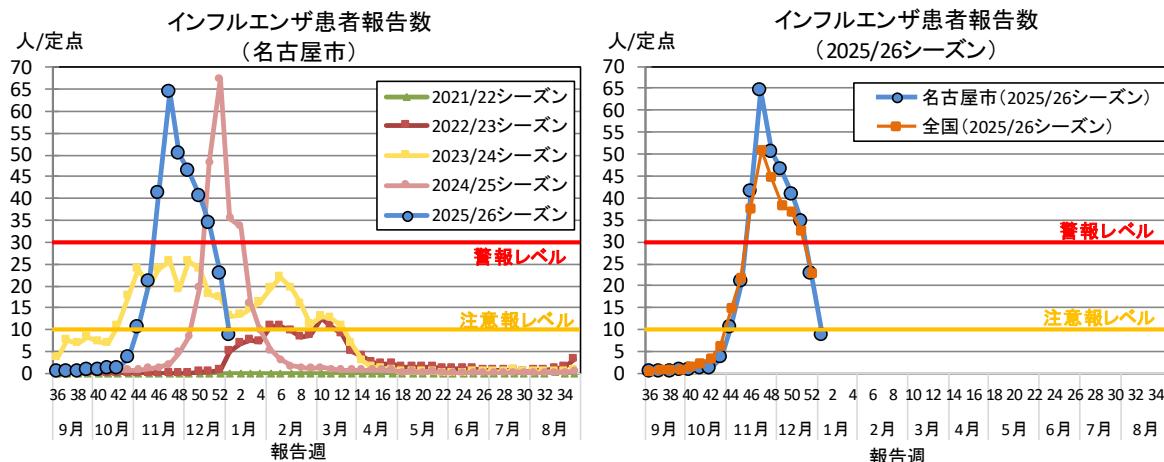


注) 第1週まで

[トピックス：インフルエンザ（2025/26シーズン）]

- 本市における2026年第1週（12月29日～1月4日）の市内50定点からのインフルエンザ患者報告数は429人と前週比0.4倍に減少し、定点当たり患者報告数は8.58でした。
- 2025/2026シーズンの集団かぜ（インフルエンザ様疾患）において、名古屋市衛生研究所で実施したPCR検査の結果、インフルエンザウイルスのうちA/H3亜型ウイルス遺伝子が検出されました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱（38°C以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。
- 高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。
- インフルエンザの治療には抗ウイルス薬が用いられます。
- インフルエンザの重症化予防にはワクチン接種が有効です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2026年1月8日作成〕



定点当たり患者報告数の推移

	第46週 (11/10～ 11/16)	第47週 (11/17～ 11/23)	第48週 (11/24～ 11/30)	第49週 (12/1～ 12/7)	第50週 (12/8～ 12/14)	第51週 (12/15～ 12/21)	第52週 (12/22～ 12/28)	第1週 (12/29～ 1/4)
名古屋市 (2025/26)	41.22 [2061]	64.34 [3217]	50.38 [2519]	46.40 [2320]	40.56 [2028]	34.42 [1721]	22.78 [1139]	8.58 [429]
愛知県	39.56	60.16	55.73	53.37	51.79	43.48	28.68	-
全国	37.73	51.12	44.99	38.51	36.96	32.73	22.77	-
名古屋市 (既シーズン)	1.27	2.07	4.76	8.43	19.77	48.27	67.49	35.57

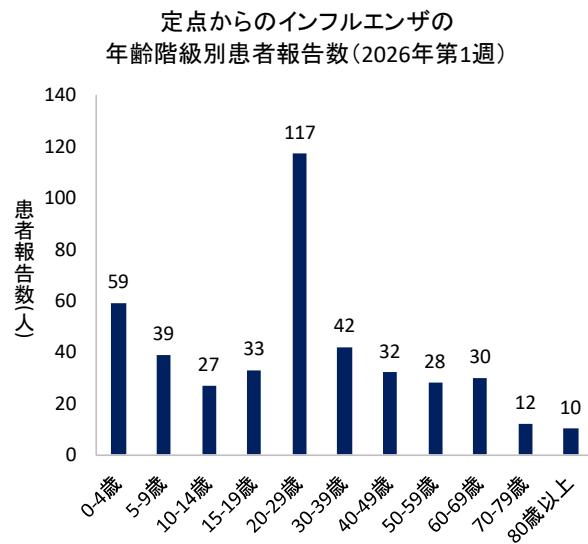
※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

※患者報告数は各週公表時における速報値

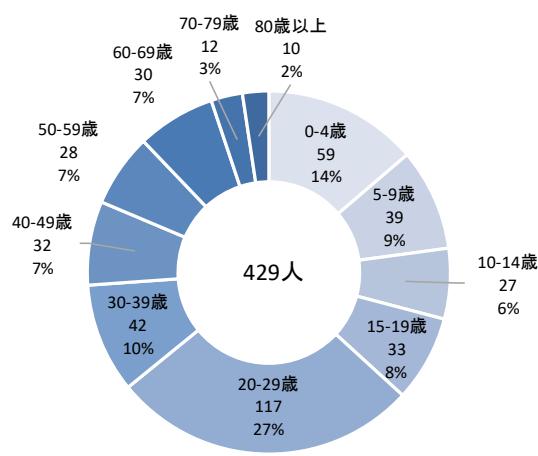
※[]内は名古屋市内50定点からの患者報告数

※2025年4月7日（第15週）から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。



年齢階級別患者報告数(2026年第1週)の割合



〔インフルエンザ関連リンク〕

- ・インフルエンザ情報（名古屋市）

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/eisei/1015269/1015388/1034411/1015408.html>

- ・インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou_kekkaku-kansenshou/infuinha/index.html

- ・インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/graphdata/020/index.html>



◆2026年第1週 患者報告数（疾病別）、定点当たり患者報告数（疾病別）、

年齢階級別患者報告数（疾病別）、患者報告数および定点当たり患者報告数の推移（疾病別）

患者報告数(名古屋市)

2026年第1週(2025年12月29日～1月4日)

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
☆インフルエンザ	18	3	19	42	27		50	7	3	107	6	89	33	7	9	9	429	0.4	0.5
☆新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3	3	1	6	3		11	2		10		6	2		2		49	1.0	0.1
○RSウイルス感染症		1			1												2	0.1	1.9
○咽頭結膜熱																	0		
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2			3					2							7	0.2	0.7
○感染性胃腸炎					7						1	4	3		1	2	18	0.1	0.4
○水痘						1					2				1	1	5	1.7	2.3
○手足口病																	0		
○伝染性紅斑																	0		
○突発性発しん																	1	0.2	0.5
○ヘルパンギーナ																	0		
○流行性耳下腺炎																	0		
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0		
◇細菌性結膜炎																	0		
◇無菌性結膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎								1									1	0.1	0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
☆急性呼吸器感染症(ARI)		111	46	145	50		28	2	6	115	12	347	114	47	50	23	1096		
計	21	120	66	193	92		90	11	9	234	19	448	153	54	63	35	1608	0.2	
☆急性呼吸器感染症定点数	4	2	4	4	3	2	2	2	2	4	3	3	4	4	3	4	50		
○小児科定点数	3	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2	2	2	4	2	2	31		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1		1		1	1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

☆○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

※2025年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。

※過去3年の同週の
定点当たり患者報
告数平均値との比
※新型コロナウイル
ス感染症(COVID-19)
は過去2年の同
週との比

定点当たり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2026年第1週(2025年12月29日～1月4日)

疾病名/区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均	
インフルエンザ	4.50	1.50	4.75	10.50	9.00		25.00	3.50	1.50	26.75	2.00	29.67	8.25	1.75	3.00	2.25	8.58	
*新型コロナウイルス感染症(COVID-19)																	0.98	
RSウイルス感染症		1.00			0.50												0.06	
咽頭結膜熱																		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.00			1.50				0.67								0.23	
感染性胃腸炎					3.50						0.50	2.00	1.50		0.50	1.00	0.58	
水痘					0.50						1.00				0.50	0.50	0.16	
手足口病																		
伝染性紅斑																		
突発性発しん																	0.03	
ヘルパンギーナ																		
流行性耳下腺炎																		
急性出血性結膜炎																		
流行性角結膜炎																		
急性呼吸器感染症(ARI)	55.50	11.50	36.25	16.67		14.00	1.00	3.00	28.75	4.00	115.67	28.50	11.75	16.67	5.75	21.92		

警報対象疾病	開始基準値		終息基準値		基準値	
	千種	東	北	西	中村	中
インフルエンザ	30		10		10	
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	-		-		-	
RSウイルス感染症	-		-		-	
咽頭結膜熱	3		1		-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8		4		-	
感染性胃腸炎	20		12		-	
水痘	2		1		1	
手足口病	5		2		-	
伝染性紅斑	2		1		-	
突発性発しん	-		-		-	
ヘルパンギーナ	6		2		-	
流行性耳下腺炎	6		2		3	
急性出血性結膜炎	1		0.1		-	
流行性角結膜炎	8		4		-	
急性呼吸器感染症(ARI)	-		-		-	

流行警報・注意報について	
■ 太字の数字 は流行警報	
■ 省略の数字 は流行警報	
■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。	
■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。	

* 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の区分定點当たり患者報告数は計上しておりません。

年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2026年第1週(2025年12月29日～1月4日)

疾病名/年齢階級 カ月	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	計	
インフルエンザ	5	12	20	13	5	4	12	1	10	8	8	27	33	117	42	32	28	30	12	10	429	
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		2	2	2	1	1		1				1	3	6	2	4	10	6	8	49		
疾病名/年齢階級 カ月	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20歳 以上	計							
RSウイルス感染症			1		1																2	
咽頭結膜熱																					0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					1								1	1	4						7	
感染性胃腸炎	1	1	1	3	1	2		1	3		2		1	2	18							
水痘					1			1	1		2										5	
手足口病																					0	
伝染性紅斑																					0	
突発性発しん			1																		1	
ヘルパンギーナ																					0	
流行性耳下腺炎																					0	
疾病名/年齢階級 カ月	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	計	
急性出血性結膜炎																					0	
流行性角結膜炎																					0	
疾病名/年齢階級 カ月	0歳	1～4	5～9	10～ 14	15～ 19	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～ 59	60～ 64	65～ 69	70歳 以上	計					
細菌性結膜炎																					0	
無菌性結膜炎																					0	
マイコプラズマ肺炎			1																		1	
クラミジア肺炎																					0	
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																					0	
疾病名/年齢階級 カ月	0歳	1～4	5～9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	計									
急性呼吸器感染症(ARI)	65	251	142	69	56	139	99	76	63	57	28	51	1096									

患者報告数および定点当たり患者報告数の推移(名古屋市)

疾病名/調査週		第44週 (10/27～ 11/2)		第45週 (11/3～ 11/9)		第46週 (11/10～ 11/16)		第47週 (11/17～ 11/23)		第48週 (11/24～ 11/30)		第49週 (12/1～ 12/7)		第50週 (12/8～ 12/14)		第51週 (12/15～ 12/21)		第52週 (12/22～ 12/28)		第1週 (12/29～ 1/4)		
		患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数	定点当たり患者報告数	患者報告数
インフルエンザ		527	1043	2061	3217	2519	2320	2028	1721	1139	429											
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		10,541	20,861	41,222	64,341	50,381	46,401	40,561	34,422	22,781	8,581											
RSウイルス感染症		27	12	20	16	12	10	10	10	13	17											2
咽頭結膜熱		0.87	0.39	0.65	0.52	0.39	0.32	0.32	0.42	0.55	0.06											
咽頭結膜熱		4	8	12	5	10	0	0	15	10	4											0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.13	0.26	0.39	0.16	0.32	0	0	0.48	0.32	0.13											0
感染性胃腸炎		37	35	37	33	26	34	31	38	45	7											
水痘		94	96	96	116	63	130	129	141	164	18											
水痘		3,031	3,101	3,101	3,741	2,031	4,191	4,161	4,551	5,291	5,581											
手足口病		0.13	0.06	0.19	0.10	0.45	0.23	0.23	0.13	0.10	0.16											
伝染性紅斑		9	17	24	7	7	6	11	8	6	0											
伝染性紅斑		0.29	0.55	0.77	0.23	0.23	0.19	0.35	0.26	0.19	0											
突発性発しん		3	4	2	5	4	5	2	1	6	1											1
ヘルパンギーナ		0.10	0.13	0.06	0.16	0.13	0.16	0.16	0.06	0.03	0.19	0.03										
流行性耳下腺炎		5	2	4	0	1	1	1	0	1	2											0
流行性角結膜炎		0	0	0.03	0	0.06	0.13	0.03	0.03	0.03	0.03	0	0.03	0.06								
急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
流行性耳下腺炎		2	2	7	4	2	0	0	8	2	0											
流行性角結膜炎		0.18	0.18	0.64	0.36	0.18	0	0	0.73	0.18	0.18											
細菌性結膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
細菌性結膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
無菌性結膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
マイコプラズマ肺炎		7	15	4	13	11	12	4	4	4	10											1
マイコプラズマ肺炎		2,331	5,001	1,331	4,331	3,671	4,001	1,331	1,331	1,331	3,331	0.33										
クラミジア肺炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
クラミジア肺炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
急性呼吸器感染症(ARI)		3,830	3,950	4,837	5,463	4,382	4,283	3,993	3,750	3,577	1,096											
急性呼吸器感染症(ARI)		76,601	79,001	96,741	109,261	87,641	85,661	79,861	75,001	71,541	21,921											

(患者報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内 3 医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています。

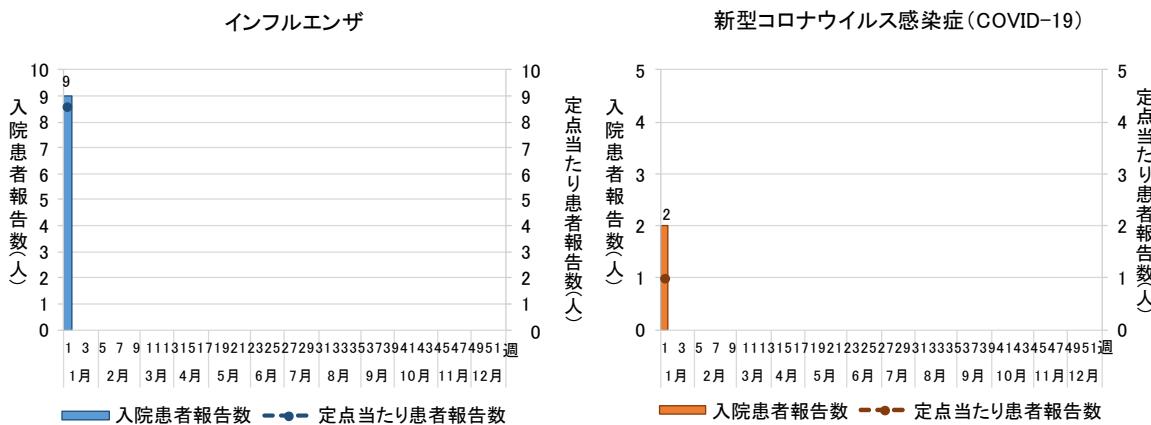
年齢階級別入院患者報告数(2026年第1週(2025年12月29日～1月4日))

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	3	0	9
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

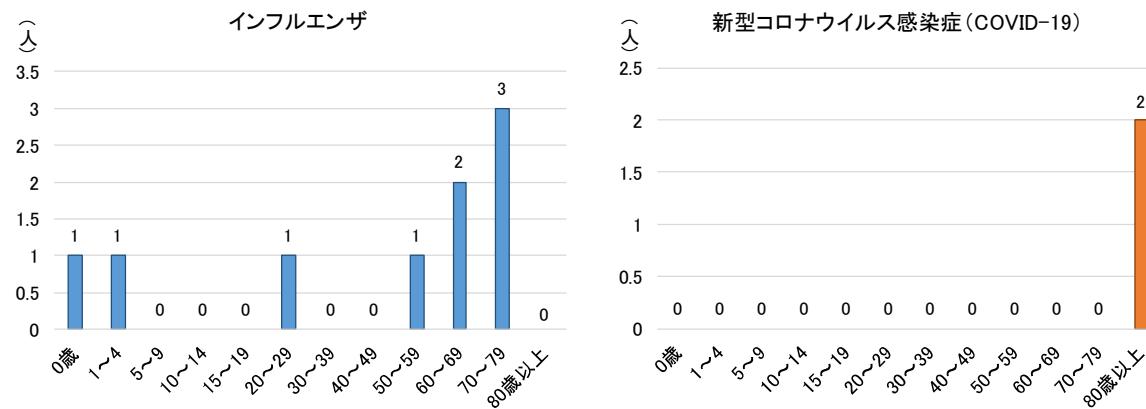
年齢階級別入院患者報告数(2026年累積)

疾病名/年齢階級	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	計
インフルエンザ	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	3	0	9
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

入院患者報告数および定点当たり患者報告数の推移(2026年)

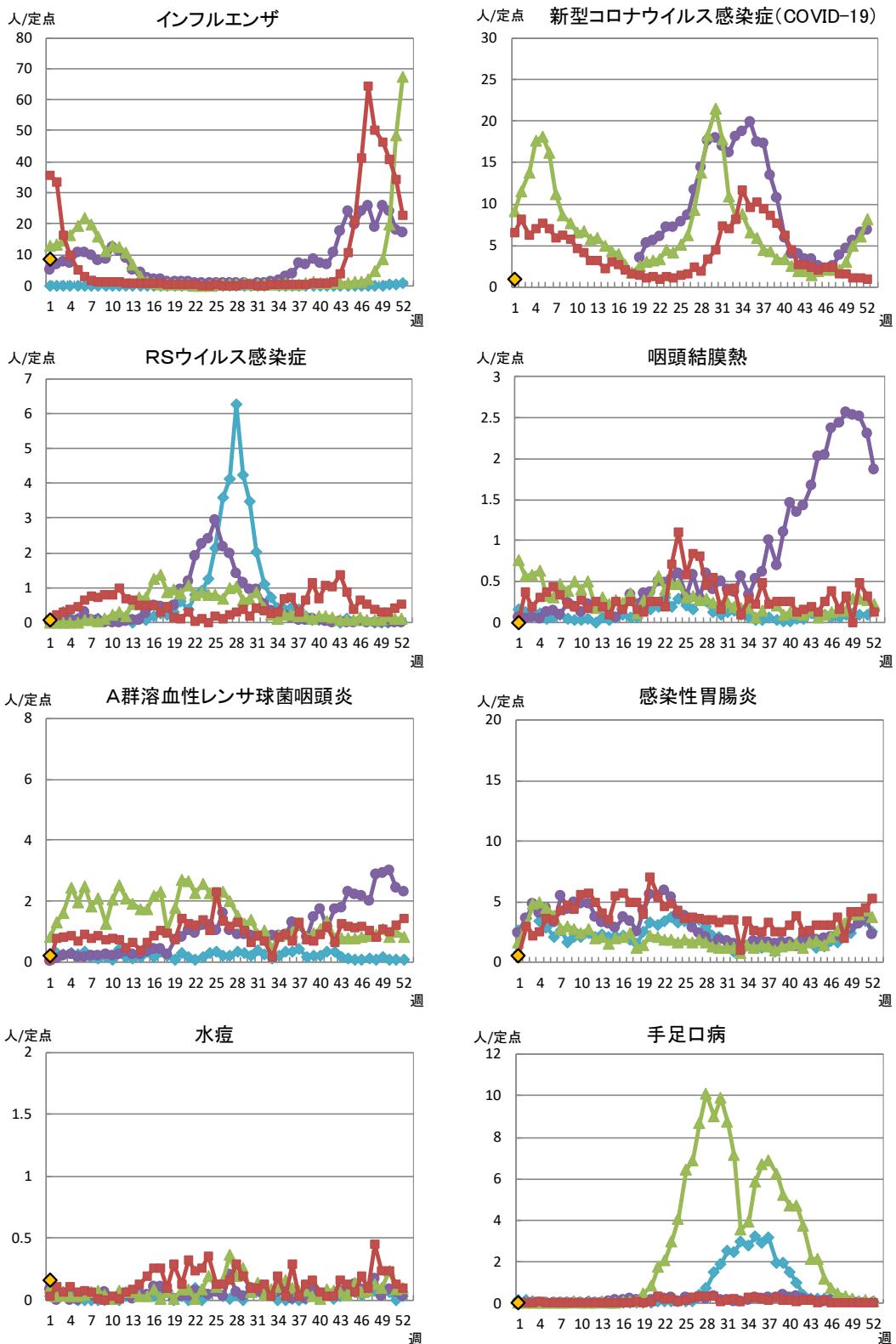


年齢階級別入院患者報告数(2026年累積)



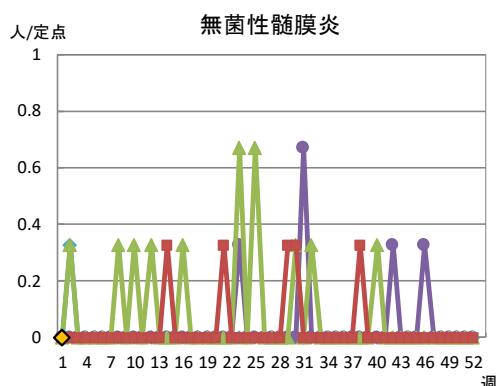
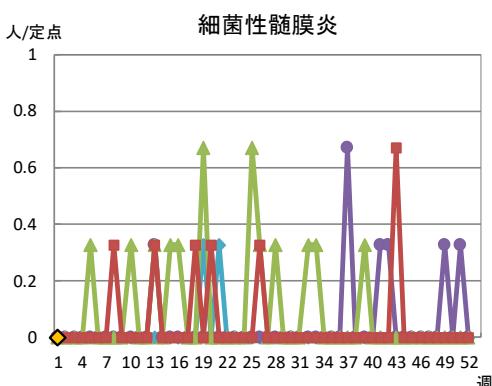
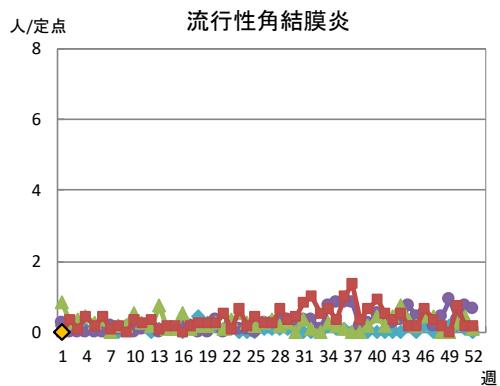
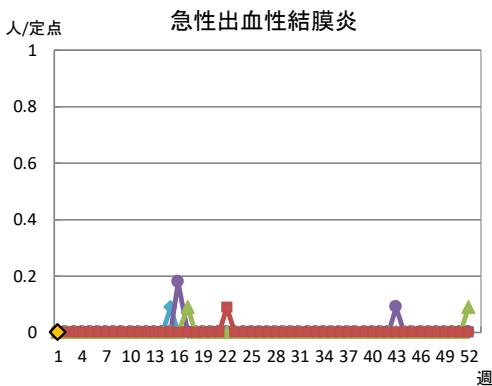
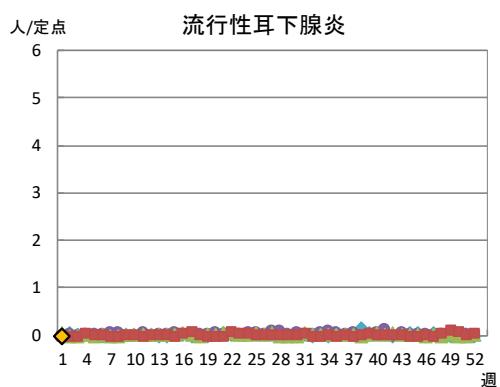
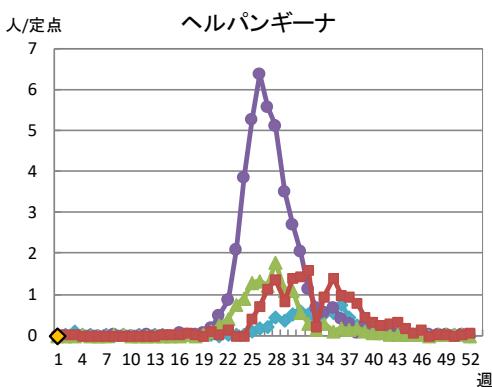
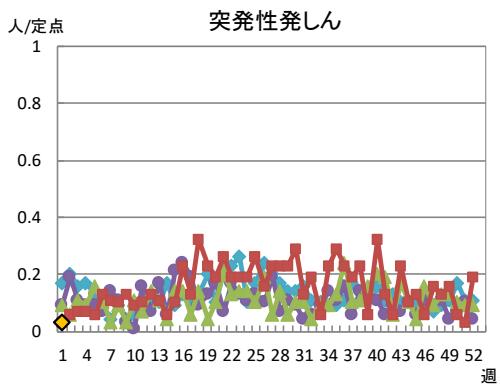
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(1) 2026年第1週まで

2022年 2023年 2024年
2025年 2026年



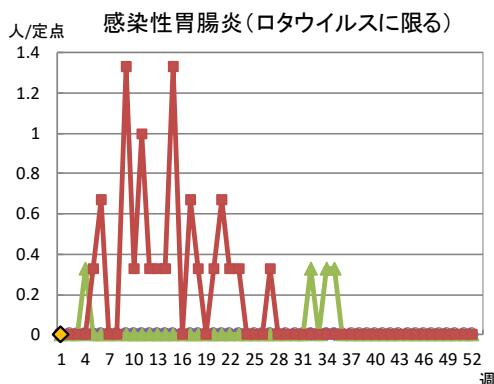
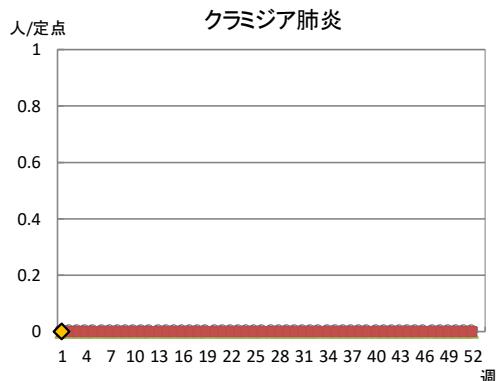
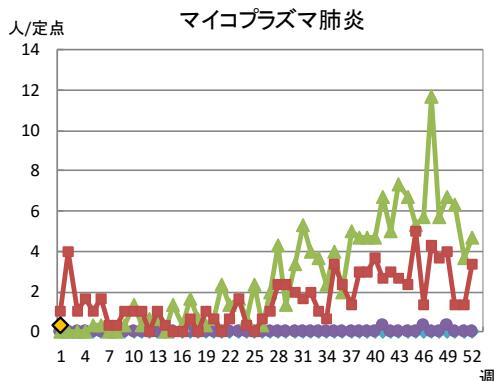
◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(2) 2026年第1週まで

2022年 2023年 2024年
2025年 2026年



◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(3) 2026年第1週まで

2022年 2023年 2024年
2025年 2026年



※2025年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが開始されるとともに定点医療機関数が変更されました。第15週以降は変更後の定点医療機関数を使用して図表を作成しています。